

入 試 要 項

一般入学試験・一般推薦入学試験・編入学試験

桐朋学園大学音楽学部

2 0 1 8



目 次

	ページ
「一般入学試験」(1年次入学)・・・・・・・・・・・・・・・・	2
「一般推薦入学試験」(1年次入学)・・・・・・・・・・・・・・・・	4
「編入学試験」(3年次入学)・・・・・・・・・・・・・・・・	6
出願書類記入上の諸注意・・・・・・・・・・・・・・・・	7
受験上の注意(「一般推薦入学試験」・「一般入学試験」・「編入学試験」)・・・・・・・・	9
練習室の貸出について(「一般入学試験」・「編入学試験」)・・・・・・・・	9
試験日程表(「一般入学試験」・「編入学試験」)・・・・・・・・	10
入学試験科目・課題	
「一般入学試験」・・・・・・・・・・・・・・・・	11
「一般推薦入学試験」・・・・・・・・・・・・・・・・	20
「編入学試験」・・・・・・・・・・・・・・・・	22
合格発表、入学手続、入学金・授業料等・・・・・・・・	24
特待生制度および奨学金制度・学生会館・・・・・・・・	25
宿泊施設・・・・・・・・・・・・・・・・	26
交通機関案内図・・・・・・・・・・・・・・・・	27

同封の書類等

- | | |
|------------------|---|
| ・一般入学試験志願票、受験曲目票 | ・検定料納金票 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> (第2志望併願用) |
| ・伴奏譜提出票 | ・出願書類送付用封筒 |
| ・奨学金申請書 | ・受験証(出願証)送付用封筒 |
| ・桐朋学園音楽部門学生会館入居願 | ・伴奏合わせ日時連絡用封筒 |

この要項一式には、一般推薦入学試験用の「志願票・受験曲目票・推薦書」「出願書類送付用封筒」、編入学試験の「志願票・受験曲目票」を同封していません。
出願予定者は、電話にてご請求ください。

入試に関するお問い合わせ：03-3307-4122(仙川キャンパス・教務課入試係)

桐朋学園大学 アドミッション・ポリシー

- ・音楽表現に対する能力や意欲を有し、自己の目標を持っている者
- ・音楽文化に関する知識と技量を習得し、社会の発展に貢献する意思のある者
- ・音楽文化の領域を学ぶために必要な理解力・構想力を持っている者

感性豊かで創造力のある音楽家を育成し、国内はもとより国際的にも活躍する人材の輩出を目指していることから、本学では入学試験での各専攻における演奏実技試験において、「技術の到達度」に加えて、「表現力」、「感性」、「個性」等を基軸にしながら選抜している。
また、演奏の能力に加えて音楽的基礎知識及び一般的な教養も重要と考え、これらを総合的に判断できる入学試験を行っている。

「一般入学試験」(1年次入学)

募集人員 90名

音楽学科〔ピアノ専攻、弦楽器専攻、管楽器専攻、打楽器専攻、ハープ専攻、古楽器専攻、声楽専攻、作曲専攻、指揮専攻、音楽学専攻〕

出願資格

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2018年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2018年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2018年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (ア) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (イ) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (ウ) 文部科学大臣の指定した者
 - (エ) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者を含む。)および2018年3月31日までに合格見込みの者
 - (オ) その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者

選考方法

選考は試験(一般学科、専門科目、専攻実技)による。(11ページ参照)

試験会場

本学〔仙川キャンパス・調布キャンパス〕(27ページ参照、詳細は受験票返送時に通知する)

入学検定料

1. 55,000円
2. 77,000円(第2志望も出願する場合)

出願期間・方法

2018年1月5日(金)～1月18日(木)【郵送に限る。1月18日消印有効】

事前に入学検定料を納入のうえ、上記期間中に後掲の出願書類を提出する。

出願手続

1. 入学検定料納入方法
必ず「検定料納金票」を使用し、銀行振込による。
 - a) みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行窓口からの振込手数料は不要。
 - b) 納金票②票(領収証)は、銀行収納印をもって本学領収印に代える。

2. 出願書類

a) 一般入学試験志願票・受験曲目票

記入方法については、7～8ページ参照。

b) 検定料振込の銀行領収印のある納金票①または回の①票（受験証）

第2志望も受験する場合のみ納金票①回を用いる。

志願票と納金票①票（受験証）には、所定の枠に合わせて写真を貼付する。その際、写真裏面に氏名を書く。

●正面上半身脱帽 ●背景のないもの ●3ヶ月以内に撮影したもの ●タテ4cm×ヨコ3cm

c) 調査書等 文部科学省所定様式による。（出願前3ヶ月以内に発行されたもの）

- (1) 高等学校卒業生（見込みの者）および高等専門学校3年修了者（見込みの者）は、出身学校長が作成する「調査書」（厳封したものに限り）を提出する。
- (2) 外国における12年の課程修了者（見込みの者）は、「修了（見込み）証明書」と「成績証明書」を提出する。ただし、日本と外国の双方の高等学校に在籍した者は、日本の高等学校の在学中の「調査書」または「成績証明書」も併せて提出する。
- (3) 高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者を含む）はその「合格証明書」と「合格成績証明書」を提出する。免除科目がある場合は、その科目の「成績証明書」（履修した高等学校で発行）も併せて提出する。
- (4) その他、高等学校を卒業した者と同等の学力があると認められた者（見込みの者）は、その「修了（見込み）証明書」と「成績証明書」または「調査書」を提出する。

d) 受験証送付用封筒

受験者本人が受け取る住所を記入し、372円分の切手を貼付する。

e) 伴奏合わせ日時連絡用封筒

弦楽器、管楽器、打楽器、ハープ、古楽器（チェンバロを除く）、声楽の各専攻志願者が提出する。受験者本人が受け取る住所を記入し、362円分の切手を貼付する。ただし、無伴奏曲で受験する者は提出不要。

f) 伴奏譜（コピー譜可）

弦楽器、管楽器、打楽器、ハープ、古楽器（チェンバロを除く）、声楽の各専攻志願者が提出する。ただし、無伴奏曲で受験する者を除く。

表紙には「伴奏譜提出票」を貼付し、コピー譜の場合は、伴奏者が演奏しやすいように体裁を整える等、配慮のうえ提出する。（8ページ参照）

g) 桐朋学園音楽部門学生会館入居願

入居を希望する者のみ提出する。

h) 桐朋学園音楽部門奨学金申請書

申請者は「桐朋学園音楽部門奨学金申請書」を別封筒（各自で用意）に入れ、表面に「奨学金関係書類在中」と朱書きし、出願書類に同封する。

3. 出願先

〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-10-1

桐朋学園大学音楽学部 事務局教務課入試係 電話 042-444-7055

試験日程

後掲の「試験日程表」（10ページ）参照

合格発表・入学手続等

24ページ参照

「一般推薦入学試験」(1年次入学)

募集人員 15名

音楽学科〔弦楽器コントラバス専攻、管楽器専攻、打楽器専攻、ハープ専攻、古楽器専攻、声楽専攻、作曲専攻、音楽学専攻〕
※ピアノ専攻、弦楽器専攻(ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ)、指揮専攻は募集しない。

出願資格

1. 高等学校もしくは中等教育学校を2018年3月卒業見込みの者で、本学を専願する者
2. 専攻として志願する楽器等演奏に関して優れた能力を有し、かつその学修に積極的な意欲をもつ者
3. 出身学校長が責任をもって推薦する、以下の条件を満たす者
 - ① 評定平均値3.0以上の者(基準となる成績は、3年の前期、または1学期までの成績とする)
 - ② 心身共に健康である者
4. 実技指導教員等が責任をもって推薦する者

選考方法

選考は試験(専攻実技・面接、専門科目)による。(20ページ参照)

試験会場

本学〔仙川キャンパス〕(27ページ参照)

入学検定料

55,000円

出願期間・方法

2017年11月1日(水)～11月2日(木) 【郵送に限る。11月2日必着】

事前に入学検定料を納入のうえ、上記期間中に後掲の出願書類を提出する。

出願手続

1. 入学検定料納入方法

必ず「検定料納金票」を使用し、銀行振込による。

- a) みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行窓口からの振込手数料は不要。
- b) 納金票②票(領収証)は、銀行収納印をもって本学領収印に代える。

2. 出願書類

この要項一式には一般推薦入学試験用の「志願票・受験曲目票・推薦書」「出願書類送付用封筒」を同封していません。出願予定者は、電話にてご請求ください。

a) 一般推薦入学試験志願票・受験曲目票

記入方法については、7～8ページ参照。

b) 検定料振込の銀行収納印のある納金票④の①票(受験証)

志願票と納金票①票(受験証)には、所定の枠に合わせて写真を貼付する。その際、写真裏面に氏名を書く。

- 正面上半身脱帽
- 背景のないもの
- 3ヶ月以内に撮影したもの
- タテ4cm×ヨコ3cm

- c) 調査書 文部科学省所定様式による。(出願前3ヶ月以内に発行されたもの) 出身学校長が作成する「調査書」(厳封したものに限り)を提出する。
- d) 推薦書 ① 出身学校長が作成する「推薦書」(本学指定用紙)
(調査書に同封し、厳封したものに限り)
② 実技指導教員等が作成する「推薦書」(本学指定用紙)
- e) 受験証送付用封筒 受験者本人が受け取る住所を記入し、372円分の切手を貼付する。
- f) 伴奏譜(コピー譜可) 弦楽器、管楽器、打楽器、ハープ、古楽器(チェンバロを除く)、声楽の各専攻志願者が提出する。ただし、無伴奏曲で受験する者を除く。
表紙には「伴奏譜提出票」を貼付し、コピー譜の場合は、伴奏者が演奏しやすいように体裁を整える等、配慮のうえ提出する。(8ページ参照)
- g) 桐朋学園音楽部門学生会館入居願 入居を希望する者のみ提出する。
- h) 桐朋学園音楽部門奨学金申請書 申請者は「桐朋学園音楽部門奨学金申請書」を別封筒(各自で用意)に入れ、表面に「奨学金関係書類在中」と朱書きし、出願書類に同封する。

3. 出願先

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1

桐朋学園大学音楽学部 事務局教務課入試係 電話 03-3307-4122

※一般入試と出願先が異なるので、この要項一式に同封されている封筒は使用しないこと。

試験日程

2017年11月12日(日)

「伴奏合わせ」を含めて、すべて11月12日(日)に行う予定。詳細は「受験証」を送付する際に通知する。

合格発表・入学手続等

24ページ参照

「編入学試験」(3年次入学)

募集人員 若干名

音楽学科〔ピアノ専攻、弦楽器専攻、管楽器専攻、打楽器専攻、ハープ専攻、声楽専攻、指揮専攻、音楽学専攻〕※古楽器専攻、作曲専攻は募集しない。

出願資格

本学において修得が義務づけられている専攻にかかわる科目の2年次相当分の必修単位を他大学(短大を含む。)で修得した、以下の2項のいずれかに該当する者。

1. 大学音楽学部第2年次以上を修了した者または2018年3月修了見込みの者。
2. 短期大学音楽科卒業生または2018年3月卒業見込みの者。

注) 出願にあたっては、単位を証明する書類等〔成績証明書・単位修得(見込み)証明書〕を用意してください。

選考方法

選考は試験(一般学科、専門科目、専攻実技)による。(22ページ参照)

試験会場

本学〔仙川キャンパス・調布キャンパス〕(27ページ参照、詳細は受験票返送時にお知らせします。)

入学検定料

55,000円

注) 「編入学試験」と「一般入学試験」を併願する場合は、本要項2~3ページ「一般入学試験」各項目に従い、それぞれの試験別に出願する。その際、出願書類2件は同封すること。ただし、<専攻実技試験課題>が「一般入学試験」と同じ専攻は、伴奏譜は1つ提出すればよい。

なお、専攻実技試験の課題が共通する場合には、1回の実技試験を受けることによって審査をする。

出願期間・方法

「一般入学試験」と同じ。(2ページ参照)

出願手続

1. 入学検定料納入方法

「一般入学試験」と同じ。(2ページ参照)

2. 出願書類

a) 編入学試験志願票・受験曲目票 (同封されていませんので、電話で請求してください。)

b) 検定料振込の銀行領収印のある納金票①票(受験証)

志願票と納金票①票(受験証)には、所定の枠に合わせて写真を貼付する。その際、写真裏面に氏名を書く。

●正面上半身脱帽 ●背景のないもの ●3ヶ月以内に撮影したもの

●タテ4cm×ヨコ3cm

c) 成績証明書と単位修得(見込み)証明書(大学または短期大学のもの)

d) 受験証送付用封筒 「一般入学試験」と同じ。3ページ参照

e) 伴奏合わせ日時連絡用封筒 「一般入学試験」と同じ。3ページ参照

f) 伴奏譜(コピー譜可) 「一般入学試験」と同じ。3ページ参照

g) 桐朋学園音楽部門学生会館入居願 「一般入学試験」と同じ。3ページ参照

h) 桐朋学園音楽部門奨学金申請書 「一般入学試験」と同じ。3ページ参照

3. 出願先・問い合わせ先

「一般入学試験」と同じ。3ページ参照

試験日程

「一般入学試験」と同じ。10ページ参照

合格発表・入学手続等

24ページ参照

出願書類記入上の諸注意

- ① 「一般入学試験」「編入学試験」の左右（志願票と受験曲目票）は切り離さないこと。
- ② 試験区分にあった「志願票・受験曲目票」を使用すること。

志願票の記入方法

1. 楽器略語・コード・・・・・・志願票裏面の「楽器略語・コード表」に従って記入する。第2志望もある場合は第2志望の「楽器略語・コード」も記入する。
2. 受付番号（※印欄）・・・・・・記入しない。
3. 氏名・・・・・・・・・・・・・・戸籍名を楷書で記入する。姓と名に分け、フリガナをふる。
4. 性別・・・・・・・・・・・・・・女、男を○で囲む。
5. 生年月日・・・・・・・・・・・・西暦で年月日を記入する。年月日の表記が1桁の場合は十の位に「0」を記入する。
6. 出願資格・・・・・・・・・・・・該当する番号を○で囲む。卒業・卒業見込み、または修了した年を西暦で記入する。出身校の所在都道府県名および学校名を枠内に記入する。
7. 保証人・・・・・・・・・・・・原則として保護者（第1保証人）を記入する。入学手続き書類の送付先になるので、電話番号、住所、氏名を必ず記入すること。
8. 受験期間中の居所・・・・・・宿泊先の名称と電話番号を記入する。志願票提出時に決まっていなかった場合、また志願票提出後に変更があった場合は、決まり次第届け出る。保証人の欄と同じ場合は「同上」と記入する。
9. 音楽学専攻受験希望外国語
・・・・・・・・・・・・英語、ドイツ語、フランス語の中から1カ国語を選択し、番号を○で囲む。当日これを変更することはできない。
10. 楽器の使用希望・・・・・・・・自分の楽器を使用する場合は「1. なし」の数字を○で囲む。本学の（コントラバス専攻生）楽器を使用する場合は、「2. あり」の数字を○で囲む。
11. 特別練習の希望・・・・・・・・コントラバス、小太鼓、マリンバ、ハーブ、チェンバロの受験生のうち、（特殊楽器）入試期間中に本学での専攻楽器練習を希望する者は、「2. あり」の数字を○で囲む。希望しない場合は、「1. なし」の数字を○で囲む。
12. 身体の障害・・・・・・・・・・障害を持つ者で、受験に際して特別の措置を希望する場合は、その障害の区分、程度を記入する。
13. 入学後の実技担当希望教師名
・・・・・・・・・・・・本学において決定するが、希望がある場合は、実技担当希望教師名を記入する。ただし、希望通りにならない場合がある。
14. 写真・・・・・・・・・・・・タテ4cm×ヨコ3cmの大きさで3ヶ月以内に撮影した背景のないものを、写真裏面に氏名を書いてから貼ること。「受験証」にも同じ写真を貼ること。
15. 学生会館入居申請・・・・・・・・入居を希望する者は申請欄に○を記入する。
16. 奨学金申請・・・・・・・・・・奨学金を申請する者は申請欄に○を記入する。

受験曲目票の記入方法

1. 「楽器略語・コード」、「氏名」・・・志願票と同様に記入する。
2. 「伴奏」・・・伴奏がつく楽曲の場合・・・・・・・・・・あり を○で囲む。
伴奏がつかない楽曲の場合・・・・・・・・・・なし を○で囲む。
3. 演奏する曲目のうち、自由曲、任意の曲については具体的・詳細に記入する。
4. 弦楽器、管楽器の課題2については、指定された曲目のうち、選択する曲目の課題番号を併せて記入する。古楽器はリコーダー、ヴィオラ・ダ・ガンバ、バロック・ヴァイオリンの選択した課題曲について記入する。
5. 第2志望がある場合は、第2志望専攻の曲目についても記入する。
6. 出願後の受験曲目等の変更は、認めない。
7. 「副科ピアノ」は、作曲者・曲目等を具体的に記入する。

受験証返送封筒

372円分の切手を貼付し、配達先の住所と専攻する楽器名等を記入する。

伴奏合わせ日時連絡用封筒について

1. 「区分」・・・・・・・・『一般』または『編入』と記入する。
2. 「楽器名等」・・・・・・・・専攻する楽器名等を記入する。
3. 362円分の切手を貼付する。

伴奏譜提出票について

1. 「区分」・・・・・・・・『推薦』、『一般』または『編入』と記入する。
2. 「※受付番号」・・・・・・・・何も記入しない。
3. 「伴奏譜提出票」は伴奏譜の表紙に貼り付ける。伴奏譜が複数ある場合は、各自で「伴奏譜提出票」をコピーして楽譜ごとに貼付する。
4. 声楽専攻（推薦・一般）の「任意の1曲」には、「任意曲」と必ず記載する。

出願書類送付用封筒

伴奏譜が「出願書類送付用封筒」に入らない場合は、各自で用意した封筒を使用して送付する。その場合、伴奏譜・伴奏譜提出票以外の出願書類は「出願書類送付用封筒」に入れたうえで、伴奏譜を入れた封筒に同封する。

受験上の注意（「一般推薦入学試験」・「一般入学試験」・「編入学試験」）

受験上の注意

1. 出願者には、受験にあたっての詳細を記載した『受験心得』を交付する。
2. 「一般入学試験」「編入学試験」受験生は、2月14日（水）15時に学内掲示および本学ホームページで発表する指定の時刻・場所に集合する。電話での問い合わせには応じない。
3. 自分の演奏曲の楽譜（必要な場合）、受験証、筆記用具、昼食（試験が昼食時間に及ぶ場合）を持参する。受験証を持たない者は試験場に入場できない。
4. 第2志望がある場合は、特に記さない限り、各専攻実技と併せて第1・第2志望双方の専門科目を受験しなければならない。（ただし「一般推薦入学試験」では第2志望を認めない）
例えば、ピアノを第1志望・管楽器を第2志望として出願した者は、ピアノおよび管楽器の専攻実技試験を受験するとともに、副科ピアノも受験しなければならない。
この試験を受けなかった者は、第2志望を棄権したものとみなされる。
出願後の志望順位の変更は認めない。
5. 伴奏付きの楽曲は、無伴奏で演奏してはならない。
6. 伴奏者は本学で準備する。伴奏譜は、出願時に『伴奏譜提出票』を貼付して提出する。
「一般入学試験」「編入学試験」の伴奏合わせの集合時刻は、伴奏合わせの3日前までに当人宛に速達郵便で通知する。
7. 楽器の使用について
 - 1) ピアノ、小太鼓、マリンバ、ハープ、チェンバロ以外は各自の楽器を持参して使用する。
 - 2) コントラバスは、本学または自分が所有する楽器のいずれを使用してもよい。
本学の楽器を使用する場合は、「出願書類記入上の諸注意」の「楽器の使用希望」に従い申し込む。
 - 3) コントラバス、小太鼓、マリンバ、ハープ、チェンバロの受験生には希望により他の受験生とは異なる方法で練習室を貸し出す。（「一般推薦入学試験」を除く）「志願票の記入方法」（7ページ）参照。該当する出願者には別途連絡する。
8. 受験を取りやめる場合は、本学まで必ず連絡すること。
9. 服装については特に指定しない。
10. 入試期間中、保護者の校内立入は禁止する。

練習室の貸出について（「一般入学試験」・「編入学試験」）

入学試験期間中は無料で練習室を貸し出す。使用できる時間帯は下記のとおりとする。
詳細については、出願者に交付する『受験心得』を参照。

受付日時		使用できる日にち・時間帯	
2/14（水）	15:00～16:00	2/14（水） 17:00～20:00	2/15（木） 7:00～8:00
2/15（木）	8:30～16:00	2/15（木） 17:00～20:00	2/16（金） 7:00～8:00
2/16（金）	8:30～16:00	2/16（金） 17:00～20:00	2/17（土） 7:00～8:00
2/17（土）	8:30～16:00	2/17（土） 17:00～20:00	2/18（日） 7:00～8:00
2/18（日）	8:30～16:00	2/18（日） 17:00～20:00	2/19（月） 7:00～8:00
2/19（月）	受付はありません		

申込方法：受付日の当日夜間と翌日早朝の分について、それぞれ1時間単位で申し込める。

* 「一般推薦入学試験」においては、練習室の貸出しは行わない。

* 2/18と2/19の貸出しは、調布キャンパスのみで行う。

試験日程表（「一般入学試験」・「編入学試験」）

- *専攻実技試験順番・集合時刻・会場等は2月14日(水)15時に発表する。
 ・本学正面玄関に掲示発表　・本学ホームページへの掲載(PDFファイル)

日程 専攻	2 / 1 5 (木)	2 / 1 6 (金)	2 / 1 7 (土)	2 / 1 8 (日)	2 / 1 9 (月)
ピアノ	9:30～ 実技①	9:30～ 実技②	9:30～ 実技③	10:30～11:30 聴音試験 13:00～ 新曲視唱試験	*各専攻共通 9:00～10:00 楽典試験 (作曲・創作芸術、 指揮専攻生を除く) 10:30～12:00 一般学科試験 13:00～ 副科ピアノ (ピアノ、 チェンバロ 専攻生を除く)
ヴァイオリン ヴィオラ チェロ コントラバス	伴奏合わせ	10:00～ 実技			
管楽器		伴奏合わせ	13:00～ 実技		
打楽器		伴奏合わせ	10:00～ 実技		
ハープ		伴奏合わせ (無伴奏の場合 は練習のみ)	11:00～ 実技		
古楽器		伴奏合わせ	13:00～ 実技		
声楽	伴奏合わせ	13:00～ 実技			
作曲 ☆創作芸術 ◇編作芸術	☆9:00～16:00 作曲(2) (器楽曲作曲) ◇9:00～12:00 作曲(2) (小品作曲)	☆13:00～16:00 作曲(1) (和声) ◇13:00～15:00 作曲(1) (作曲)	☆◇10:00～ 作曲理論ピアノ ☆◇13:00～ 専攻面接		
指揮	9:00～12:00 指揮和声 14:00～ 専攻実技 専攻面接		10:00～ 作曲理論ピアノ		
音楽学		10:30～12:00 専攻作文 (第2志望含む) 13:00～14:30 専攻外国語 (第2志望含む)	14:00～ 専攻面接 (第2志望含む)		

(注) 伴奏合わせの時間は個人別に通知する。斜線は専攻により試験のない日。

(注) ピアノ専攻実技は①～③のうち、いずれか2日で受験する。

(注) 作曲専攻、指揮専攻の受験生で、作曲理論ピアノに代えてピアノ以外の楽器等による演奏で受験する場合は、併せて、それぞれの専攻実技試験日程により受験する。

入学試験科目・課題

「一般入学試験」

<試験科目>

I. 一般学科

「国語」、「英語」

1時間30分で2教科を解答する。

II. 専門科目

1. 楽典（作曲－創作芸術、指揮専攻志願者を除く）（1時間）

2. 聴音・新曲視唱

A課題（ピアノ、作曲－創作芸術、指揮専攻生）

B課題（ピアノ、作曲－創作芸術、指揮専攻生以外）

新曲視唱はA・B課題とも原則として固定ド唱法を用いるが、移動ド唱法を用いてもよい。

（課題の内容・難易度は過年度入学試験問題を参照のこと）

3. 副科ピアノ（ピアノ、チェンバロ専攻志願者を除く。下記参照。作曲専攻、指揮専攻の志願者は18・19ページも参照のこと。）

III. 専攻実技 各専攻実技試験課題については下記参照。

<副科ピアノ>

暗譜で演奏する

課題1 自由曲1曲 ソナタ・アルバム程度以上。

課題2 「課題1」と同じ調性の音階を、次の要領により演奏する。

ハノン教本 No. 39 に準じる。

テンポは ♩=60～120程度。

長調の場合は、繰り返しなしでカデンツをつける。

短調の場合は、和声短音階を1回弾いたのち、続けて旋律短音階を1回弾き、カデンツをつける。

※「課題2」（音階）、「課題1」（自由曲）の順で演奏すること。

<専攻実技試験課題>

ピ ア ノ

課題1 Beethoven : 任意のSonate 1曲(全楽章) 繰り返しは省略するが、D.C.はすること。
ただし、次の6曲は除く。

op. 14-1, op. 14-2, op. 49-1, op. 49-2, op. 79, op. 106

演奏箇所については2月14日（水）15時に学内掲示および本学ホームページで発表する。

課題2 下記a) b) を演奏する。 ー演奏する順序は自由ー

a) Bach : Das Wohltemperierte Klavier I巻またはII巻から任意の1曲

b) Chopin : Etudes op. 10, op. 25から任意の2曲（ただし、op. 10-6, op. 25-7は除く）

※当日、演奏を途中でカットすることもある。

※試験は、課題1と課題2に分けて行う。

※暗譜で演奏すること。

弦 楽 器

以下の（１）と（２）を暗譜で演奏する。（コントラバスの課題は別）

a) ヴァイオリン

（１）Paganini : カプリスから任意の１曲

（２）以下のコンチェルトから任意の１曲で、第１楽章または終楽章または指定された箇所

- | | | |
|-----|-------------|--------------------------------------|
| 1. | Bartók | : 第２番 |
| 2. | Brahms | : D-dur |
| 3. | Bruch | : 第１番 g-moll |
| 4. | Dvořák | : a-moll |
| 5. | Elgar | : h-moll |
| 6. | Ernst | : fis-moll op. 23 (独奏部分から第237小節まで) |
| 7. | Glazunov | : a-moll (第１部: アレグロの前まで、第２部: アレグロから) |
| 8. | Lalo | : スペイン交響曲 |
| 9. | Mendelssohn | : e-moll |
| 10. | Paganini | : 第１番 D-dur |
| 11. | Prokofiev | : 第１番 D-dur |
| 12. | Prokofiev | : 第２番 g-moll |
| 13. | Saint-Saëns | : 第３番 h-moll |
| 14. | Sibelius | : d-moll |
| 15. | Tchaikovsky | : D-dur |
| 16. | Vieuxtemps | : 第５番 a-moll (アダージョの前まで) |
| 17. | Wieniawski | : 第１番 fis-moll |
| 18. | Wieniawski | : 第２番 d-moll |

b) ヴィオラ

（１）Bach : Cello Suite から任意の楽章（繰り返しなし）

（２）以下の５曲より任意の１曲

- | | | |
|-----|-------------------------------|----------------|
| 19. | Hoffmeister in D から | 第１楽章 (カデンツ付きで) |
| 20. | Stamitz in D op. 1 から | 第１楽章 (カデンツ付きで) |
| 21. | Bartók | |
| 22. | Hindemith: Der Schwanendreher | (白鳥を焼く男) |
| 23. | Walton | |
- ※21～23は第１楽章、または最終楽章

c) チェロ

（１）Bach の無伴奏組曲 6 曲の中から任意のプレリュード

（２）以下のコンチェルトから任意の第１楽章または終楽章

- | | | |
|-----|-----------------|---|
| 24. | L. Boccherini | : B-dur |
| 25. | A. Dvořák | : h-moll |
| 26. | E. Elgar | : e-moll |
| 27. | J. Haydn | : 第１番 C-dur |
| 28. | J. Haydn | : 第２番 D-dur |
| 29. | A. Khachaturian | : e-moll |
| 30. | E. Lalo | : d-moll |
| 31. | S. Prokofiev | : 第２番 e-moll op. 125 Sinfonia Concertante |
| 32. | C. Saint-Saëns | : 第１番 a-moll op. 33 |
| 33. | R. Schumann | : a-moll |
| 34. | D. Shostakovich | : 第１番 Es-dur op. 107 |
| 35. | P. Tchaikovsky | : Rococo-Variations (主題と最終変奏を含めて 10 分程度にまとめる) |
| 36. | S. Barber | : op. 22 |
| 37. | D. Kabalewski | : op. 49 |
| 38. | S. Prokofiev | : op. 132 Concertino |
| 39. | W. Walton | |

d) コントラバス

次の1)または2)の中から1曲を選んで演奏すること。

1) 任意のコンチェルトの第1楽章または第3楽章(10分以内)

2) バロックのソナタの急速楽章と緩徐楽章(10分以内)

上記課題以外の条件で受験を希望する者は、当人の実技教師による理由書を出願時に提出すれば受験することができる。

管 楽 器

a) フルート

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

(1) Andersen : 24 Studien op. 21からNo. 24

(2) 以下の曲から任意の1曲

- | | |
|----------------|------------------------------------|
| 40. Chaminade | : Concertino op. 107 |
| 41. Enesco | : Cantabile et Presto |
| 42. Gaubert | : Nocturne et Allegro Scherzando |
| 43. Taffanel | : Andante Pastoral et Scherzettino |
| 44. Berio | : Sequenza I |
| 45. Bozza | : Image |
| 46. Halffter | : Debla |
| 47. 一柳慧 | : 忘れえぬ記憶の中に |
| 48. Ibert | : Pièce |
| 49. Karg-Elert | : 30 Studies op. 107よりNo. 30 |
| 50. I. Yun | : EtüdenよりNo. 5 Allegretto |

b) オーボエ

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。繰り返しは省略する。

(1) W. Ferling : 48 ETUDES (Pierre Pierlot 版)
から No. 18, 20, 21, 27 の中から当日指定する。

(2) 以下の4曲から任意の1曲

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 51. G. F. Händel | : Sonate c-moll 第1, 2楽章 |
| 52. G. F. Händel | : Sonate g-moll 第1, 2楽章 |
| 53. G. Ph. Telemann | : Sonate g-moll 第1, 2楽章 |
| 54. G. Ph. Telemann | : Sonate a-moll 第1, 2楽章 |

c) クラリネット

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。繰り返しは省略する。

(1) C. Rose : 32 Etudes (Leduc社版)
No. 1~20の中から任意の奇数番号と偶数番号をそれぞれ1曲(合計2曲)
を選択する。受験曲目記入欄 Cl. (1) に番号を記入すること。

(2) 以下の6曲から任意の1曲

- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| 55. C. Stamitz | : Concerto No. 3 B-dur 第1楽章 |
| 56. C. M. v. Weber | : Concerto op. 73 f-moll 第1楽章 |
| 57. C. M. v. Weber | : Concertino op. 26 |
| 58. A. Messenger | : Solo de Concours |
| 59. E. Bozza | : Fantaisie Italienne |
| 60. Krommer | : Concerto op. 36 Es-dur 第1楽章 |

d) ファゴット

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。繰り返しは省略する。

(1) Julius Weissenborn : Fifty Bassoon Studies op. 8 Vol. II
No. 1～No. 15から当日指定する。

(2) 以下の2曲から任意の1曲

6 1. G.P. Telemann : Sonata in f 第1, 2楽章
6 2. J.F. Fasch : Sonata C-dur 第1, 2楽章

e) サクソフォン

以下の(1)と(2)を演奏する。繰り返しは省略する。暗譜の必要はない。

(1) Ferling : Quarante-Huit Études (Leduc社版)
から任意の奇数番号と偶数番号をそれぞれ1曲ずつ演奏する。
受験曲目記入欄 Sax (1)に番号を記入すること。

(2) 自由曲 1曲

f) トランペット

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。繰り返しは省略する。

(1) R.W. Getchell : Practical Studies Vol. II Getchell & Hovey (Belwin Mills社版)
No. 79, 85, 90, 96, 100 から当日指定する。

(2) 以下の5曲から任意の1曲

6 3. G. Alary : Morceau de Concours (A. Leduc社版)
6 4. J. Ed. Barat : Fantaisie en mi-bémol (A. Leduc社版)
6 5. Ph. Gaubert : Cantabile et Scherzetto (A. Leduc社版)
6 6. J. Guy Ropartz : Andante and Allegro (International Music社版)
6 7. F. Thomé : Fantasia (A. Leduc社版)

g) テノール・トロンボーン

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。繰り返しは省略する。

(1) C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (版は指定しない)
No. 9, 13, 16, 22, 31 から当日指定する。

(2) 以下の5曲から任意の1曲

6 8. E. Paudert : Berühmte Arie (D. RAHTER社版)
6 9. A. Vivaldi : Sonata No. 1 B^b-major 第1, 4楽章 (International Music社版)
7 0. S. Rousseau : Piece Concertante (Carl Fischer社版)
7 1. E. Sachse : Concertino 最初から Adagio の終わりまで
(International Music社版)
7 2. A. Guilmant : Concert Piece op. 88 (International Music社版)

h) バス・トロンボーン

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。繰り返しは省略する。

(1) O. Blume : 36 Studies for Trombone with F Attachment
No. 7, 8, 14, 19, 23 から当日指定する。 (Carl Fischer社版)

(2) 以下の4曲から任意の1曲

7 3. A. Lebedev : Concerto in One Movement (Musicus社版)
7 4. E. Sachse : Concertino 最初から Adagio の終わりまで
(F-dur で演奏してもよい) (International Music社版)
7 5. E. Bozza : Thème Varié (A. Leduc社版)
7 6. E. Bozza : Allegro et Finale (A. Leduc社版)

i) ユーフォonium

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。繰り返しは省略する。

- (1) C. Kopprasch : Kopprasch Selected Etude Vol. I (版は指定しない)
No. 6, 10, 11, 16, 26 から当日指定する。
- (2) 以下の4曲から任意の1曲
- | | | |
|---------------|--|-----------|
| 77. Barat | : Andante & Allegro | (版は指定しない) |
| 78. Capuzzi | : Andante & Rondo | (版は指定しない) |
| 79. Vivaldi | : Sonata No.1 B ^b majorより第1,2楽章 | (版は指定しない) |
| 80. De La Nux | : Concert Piece | (版は指定しない) |

j) テューバ

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。繰り返しは省略する。

- (1) C. Kopprasch : 60 Selected Etude for Tuba (Robert King社版)
No. 8, 14, 15, 19, 41, 43 から当日指定する。
- (2) 以下の5曲から任意の1曲
- | | | |
|------------------------|--|------------------|
| 81. J. S. Bach=W. Bell | : Air and Bourree | (Carl Fischer社版) |
| 82. W. S. Hartley | : Suite for Unaccompanied Tuba 1 Intrada | (Elkan-Vogel社版) |
| 83. W. S. Hartley | : Suite for Unaccompanied Tuba 2 Valse | (Elkan-Vogel社版) |
| 84. W. S. Hartley | : Suite for Unaccompanied Tuba 3 Air | (Elkan-Vogel社版) |
| 85. W. S. Hartley | : Suite for Unaccompanied Tuba 4 Galop | (Elkan-Vogel社版) |

k) ホルン

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。繰り返しは省略する。

- (1) Maxime-Alphonse : Vol. I No. 9, 24, 34, 36, 40 から当日指定する。 (Leduc社版)
- (2) 以下の3曲から任意の1曲
- | | | |
|------------------|-------------------------|------------------|
| 86. W. A. Mozart | : Horn Konzert 第3番 第1楽章 | (Bärenreiter社版他) |
| | カデンツなし。 | |
| 87. W. A. Mozart | : Horn Konzert 第1番 第1楽章 | (Bärenreiter社版他) |
| 88. E. Bozza | : En Irlande | (Leduc社版) |

打楽器 (本学の楽器を使用)

以下の(1)(2)(3)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

a) パーカッション

- (1) 小太鼓による1つ打ち、2つ打ち、5つ打ちから当日指定する。(Snare offで演奏)、
クレッシェンド・ディミニユエンドロール打ち (< >) (Snare onで演奏)、より当日指定。
- (2) 以下から当日2曲を指定する。(Snare onで演奏)
- M. Goldenberg: Modern School for Snare Drum (A. J. Cirone 社版)から
Roll Exercise in 2/4(p.44) Roll Exercise in 3/4(p.45) Etude in 6/8(p.48,49)
- (3) マリンバによる課題 —23ページ参照
- マリンバによる#・b3つまでの3オクターブのスケールとアルペジオ。
短調は和声的音階・旋律的音階の両方とする。 注: 調性は当日指定する。

b) マリンバ

(1) 小太鼓による1つ打ち、2つ打ち (Snare offで演奏)

(2) マリンバによる課題 —23ページ参照

マリンバによる#・b全調の3オクターブのスケールとアルペジオ。

短調は和声的音階・旋律的音階の両方とする。 注：調性は当日指定する。

(3) 自由曲 8分以内

ハ ー プ

以下の(1)(2)(3)を暗譜で演奏する。

(1) 変ホ長調のスケール・アルペジオ・和音

(2) N. Ch. Bochsa : 50のエチュード第1巻から1曲

(3) 自由曲 1曲

古 楽 器

以下の(1)(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

a) リコーダー

(1) 課題曲

Francesco Maria Veracini : リコーダーと通奏低音のための12のソナタから任意の1曲

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

b) フラウト・トラヴェルソ

(1) 課題曲

G. F. Händel : Sonata h-moll (Hallenser Sonata No. 3, HWV376) 全楽章 繰り返しは任意。
[推薦楽譜] Bärenreiter社版 (1995年, T. Best の新版)

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

c) バロック・オーボエ

(1) 課題曲

G. F. Händel : Sonata B-dur HWV357 全楽章

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

d) ヴィオラ・ダ・ガンバ

(1) 課題曲

Marin Marais : ヴィオール曲集第2巻(1701年)から任意の組曲
(10分程度にまとめること)

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

e) バロック・ヴァイオリン

(1) 課題曲

① 17世紀イタリアのソナタから任意の1曲

(Marini, Castello, Fontana, Uccelliniなどから)

② Arcangelo Corelli : ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ 作品5から任意の1曲
(ただし、No. 12「ラ・フォリア」を除く)

③ J. S. Bach : ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ G-dur BWV1021
上記の課題の②、③については、試験当日に演奏する楽章を指定する。

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

f) バロック・チェロ

(1) 課題曲

- ① Francesco Geminiani : Sonate 2 (D minor) 1st mov. Andante, 2nd mov. Presto
② J. S. Bach : Gigue Suite 第3番 BWV1009

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

注1) リコーダー、フラウト・トラヴェルソ、バロック・オーボエ、ヴィオラ・ダ・ガンバの受験生は当日 $a^{\flat} = 415$ の専攻楽器を使用すること。

バロック・ヴァイオリンおよびバロック・チェロの受験にあたっては、モダン楽器での受験も可とする。ただし、ピッチは $a^{\flat} = 415$ とし、ガット弦およびバロック弓を使用すること。

注2) 伴奏は本学で用意する。

g) チェンバロ

(1) 課題曲 —— 次の作品をすべて演奏する。ただし、演奏順序は自由。

- ① J. S. Bach : 平均律クラヴィーア曲集 第I巻
前奏曲とフーガ 第15番 G-dur
[推薦楽譜] Bärenreiter社版 および Henle社版
- ② D. Scarlatti : Sonata c-moll K.115
[推薦楽譜] スカルラッティ 60のソナタ 上巻 全音楽譜出版社版
- ③ J. P. Rameau : クラヴサン曲集より Fanfarinette
[推薦楽譜] Bärenreiter社版 および Heugel社版
- ④ W. Byrd : Callino Casturame
[推薦楽譜] Stainer & Bell 社版 Musica Britannica 第27巻

(2) 初見演奏

バロック時代の簡易な舞曲あるいはそれに準ずる小品。

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

◎当日は後期フレミッシュ・モデル2段鍵盤チェンバロ(音域 FF-g⁷、ピッチ $a^{\flat} = 415$ 、レジスタ 8'8"4'L)を使用する。

◎課題曲および推薦楽譜、使用楽器について不明な点がある場合は、事務局教務課入試係に問い合わせること。(電話:03-3307-4122 [ダイヤル・イン])

声 楽

暗譜で演奏する

イタリア古典歌曲(注)2曲以上を含む5曲を提出し、そのうち任意の1曲と、抽選による1曲の合計2曲を演奏する。出願の際、受験曲目票に原語で作曲者名と曲名を記入する。オペラ・アリア以外は調性も明記する。

◎出願書類とともに受験曲5曲の伴奏譜を必ず提出する。「任意の1曲」には、伴奏譜提出票にもその旨を記入すること。(8ページ参照)

(注) 以下の楽譜に記載の曲より選ぶこと。移調は自由。

Ricordi (リコルディ社) Arie Antiche vol.1・2・3
全音楽譜出版社「イタリア歌曲集」1(新版を含む)・2
教育芸術社「イタリア古典声楽曲集」1・2

作曲

a) 創作芸術

(1) 和声

バス、ソプラノ各1題（ピアノ使用不可 3時間）

(2) 器楽曲作曲

与えられたモチーフの中から選択し、任意の器楽曲を作曲する。
（ピアノ使用可 6時間）

(3) 専攻に関する面接

(4) 作曲理論ピアノまたは楽器等演奏

下記ア)、イ)いずれかで受験する。

ア) 作曲理論ピアノ

- ① J. S. Bach : 2声のインヴェンション、または
3声のシンフォニアから任意の1曲、または
平均律クラヴィーア曲集第I・II巻から任意の1曲(プレリュードとフーガ)

- ② 自由曲1曲: 上記の①と合わせて15分以内の楽曲とする。

注 ①②ともに暗譜で演奏すること。ただし②について、現代作品で、楽譜を見ながら弾くことが指定されている作品(例:不確定性の音楽)は、楽譜を見ることを可とする。

- ③ 新曲初見演奏1曲(予見時間5分)

イ) 作曲理論ピアノによらない楽器等演奏

(弦楽器・声楽は暗譜。これ以外の実技は、暗譜で演奏するか否かは自由とする)

- ① ピアノ以外の楽器(本学が専攻として設置している楽器に限る)または声楽による演奏
.....(自由曲1曲 8分程度)
- ② 副科ピアノ(11ページ参照).....(①においてチェンバロを選択した者は除く。
暗譜で演奏する)

b) 編作芸術

(1) 作曲(以下のいずれかを選択して実施する)

a) 近親転調を含むバス和声課題(ピアノ使用不可 2時間)

b) 旋律課題の自由な伴奏付け。(ピアノ使用可 2時間)

(2) 小品作曲

与えられた主題(調性あり)による24小節以上の小品を作曲する。楽器編成は自由とする。
(ピアノ使用可 3時間)

(3) 専攻に関する面接

(4) 作曲理論ピアノまたは楽器等演奏

下記ア)、イ)いずれかで受験する。

ア) 作曲理論ピアノ

自由曲1曲: 10分以内の楽曲とする。(暗譜で演奏すること)

イ) 作曲理論ピアノによらない楽器等演奏

(弦楽器・声楽は暗譜。これ以外の実技は、暗譜で演奏するか否かは自由とする)

- ① ピアノ以外の楽器(本学が専攻として設置している楽器に限る)または声楽による演奏
.....(自由曲1曲)
- ② ピアノ演奏(自由曲1曲。上記①とあわせて10分以内の楽曲とする。)

指 揮

(1) 実技 (暗譜で演奏するか否かは自由とする)

Beethoven : Egmont overture

Beethoven : Symphony No. 1 第1楽章

注: 以上2曲とも、本学で用意した2台ピアノの伴奏による。

(2) 専攻に関する面接

(3) 和声

ソプラノ課題 1題 (ピアノ使用不可: 3時間)

(4) 作曲理論ピアノまたは楽器等演奏

下記ア、イ)いずれかで受験する。

ア) 作曲理論ピアノ

作曲専攻-創作芸術 (4)ア)と同じ。

イ) 作曲理論ピアノによらない楽器等演奏

作曲専攻-創作芸術 (4)イ)と同じ。

音 楽 学

(1) 専攻作文 (1時間30分)

(2) 専攻外国語 (1時間30分)

(英語、ドイツ語、フランス語の中から1カ国語を選択する。辞書(電子辞書含む)の持ち込みを可とする。)

(3) 面接

※作曲専攻、指揮専攻、音楽学専攻のいずれかを第2志望(他専攻を第1志望)としている場合の受験科目は第1志望による試験科目に加えて次のとおり。

作曲専攻	(1)～(3)を併せて受験する。
指揮専攻	(1)～(3)を併せて受験する。
音楽学専攻	(1)～(3)を併せて受験する。

(注) 作曲専攻、指揮専攻で(4)イ)に該当する受験生で、ピアノ以外の楽器または声楽の演奏で受験する場合は、各専攻実技試験日程(伴奏合わせを含む・10ページ参照)の中で受験すること。

「一般推薦入学試験」

<試験科目>

I. 専門科目

1. 楽典（1時間）[作曲専攻志願者は受験不要]
2. 聴音（1時間）、新曲視唱
3. 副科ピアノ実技 [チェンバロ専攻志願者および作曲専攻志願者は受験不要]
自由曲1曲（暗譜で演奏する）

II. 専攻実技・面接

[作曲専攻は楽器演奏を課す]

<専攻実技試験課題>

弦 楽 器

- a) コントラバス
一般入学試験に同じ

管 楽 器

管楽器の課題は、すべて一般入学試験に同じ

- a) フルート
- b) オーボエ
- c) クラリネット
- d) ファゴット
- e) サクソフォン
- f) トランペット
- g) テノール・トロンボーン
- h) バス・トロンボーン
- i) ユーフォニウム
- j) テューバ
- k) ホルン

打 楽 器

- a) パーカッション
一般入学試験に同じ
- b) マリンバ
一般入学試験に同じ

ハ ー プ

一般入学試験に同じ

古 楽 器

注1) リコーダー、フラウト・トラヴェルソ、バロック・オーボエ、ヴィオラ・ダ・ガンバの受験生は当日 $a^{\flat} = 415$ の専攻楽器を使用すること。
バロック・ヴァイオリンおよびバロック・チェロの受験にあたっては、モダン楽器での受験も可とする。ただし、ピッチは $a^{\flat} = 415$ とし、ガット弦およびバロック弓を使用すること。

注2) 伴奏は本学で用意する。

a) リコーダー

一般入学試験に同じ

b) フラウト・トラヴェルソ

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

(1) 課題曲

G. F. Händel : Sonata G-dur HWV363b (op. 1-5) 全楽章 繰り返しは任意。

[推薦楽譜] Bärenreiter社版 (1995年, T. Best の新版)

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

c) バロック・オーボエ

一般入学試験に同じ

d) ヴィオラ・ダ・ガンバ

一般入学試験に同じ

e) バロック・ヴァイオリン

一般入学試験に同じ

f) バロック・チェロ

一般入学試験に同じ

g) チェンバロ

(1) 課題曲 —— 次の作品をすべて演奏する。ただし、演奏順序は自由。

① J. S. Bach

: 平均律クラヴィーア曲集 第I巻

前奏曲とフーガ 第11番 F-dur

[推薦楽譜] Bärenreiter社版 および Henle社版

② D. Scarlatti

: Sonata C-dur K. 105

[推薦楽譜] スカルラッティ 60のソナタ 上巻

全音楽譜出版社版

③ J. P. Rameau

: クラヴサン曲集より Vénitienne

[推薦楽譜] Bärenreiter社版 および Heugel社版

④ W. Byrd

: Callino Casturame

[推薦楽譜] Stainer & Bell 社版 Musica Britannica 第27巻

(2) 初見演奏

バロック時代の簡易な舞曲あるいはそれに準ずる小品。

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

◎ 当日は後期フレミッシュ・モデル2段鍵盤チェンバロ(音域 FF-g⁷、ピッチ a⁴¹⁵、レジスタ 8'8⁴L)を使用する。

声 楽

一般入学試験に同じ

作 曲

a) 創作芸術

(1) 作曲作品提出(複数・作曲途中のものも可) ※出願手続の際、出願書類とともに提出すること

(2) 専攻に関する面接 ※その際下記を演奏すること。

楽器演奏(声楽を含む) 5分以内の自由曲

b) 編作芸術

(1) 作曲または編曲作品提出(複数・作曲、編曲途中のものも可)

※出願手続の際、出願書類とともに提出すること

(2) 専攻に関する面接 ※その際下記を演奏すること。

楽器演奏(声楽を含む) 5分以内の自由曲

音 楽 学

一般入学試験に同じ

「編入学試験」

<試験科目>

- | | | |
|------------|------------------------|-----------|
| I. 一般学科 | 「一般入学試験」(1年次入学)入試課題に共通 | (11ページ記載) |
| II. 専門科目 | 「一般入学試験」(1年次入学)入試課題に共通 | (11ページ記載) |
| 1. 楽典 | | |
| 2. 聴音・新曲視唱 | | |
| 3. 副科ピアノ | | |
| III. 専攻実技 | | |

<専攻実技試験課題>

ピ ア ノ

課題1 自由曲 10分程度 <一部省略も可>

課題2 下記a) b)を演奏する。 -演奏する順序は自由-

a) Bach : Das Wohltemperierte Klavier

II巻: No. 14, No. 16, No. 17, No. 22の中から1曲

b) Chopin : Etudes op. 10、op. 25から任意の2曲

(ただし、op. 10-6、op. 25-7は除く)

※当日、演奏を途中でカットすることもある。

※試験は、課題1と課題2に分けて行う。

※暗譜で演奏すること。

弦 楽 器

一般入学試験に同じ

管 楽 器

一般入学試験に同じ

打 楽 器

一般入学試験に同じ

ハ ー プ

一般入学試験に同じ

声 楽

暗譜で演奏する

2人以上の作曲家の作品を5曲提出する。そのうち、当日指定する2曲を演奏する。

出願の際、受験曲目票に原語で作曲家名と曲名を記入し、オペラ・アリア以外は調性も明記する。

出願書類とともに受験曲5曲の伴奏譜を必ず提出する。(8ページ参照)

指 揮

一般入学試験に同じ

音 楽 学

一般入学試験に同じ

打楽器専攻実技試験課題

a) パーカッション - (3) マリンバによる課題

♯・♭ 3つまでの3オクターブのスケールとアルペジオ。
短調は和声的音階・旋律的音階の両方とする。注：調性は当日指定する。

b) マリンバ - (2) マリンバによる課題

♯・♭ 全調の3オクターブのスケールとアルペジオ。
短調は和声的音階・旋律的音階の両方とする。注：調性は当日指定する。

The musical score is written for mallet percussion in common time (C) with a tempo of 126 beats per minute. It consists of two systems of staves. The first system has a treble clef on the top staff and a bass clef on the bottom staff. The second system has a treble clef on the top staff and a bass clef on the bottom staff. The score includes various rhythmic patterns and hand indicators: 'R L' for alternating hands, 'L R' for alternating hands, 'R L' for alternating hands, and 'R R' for double strokes. There are also accents (>) and slurs over the notes.

和声的短音階

The musical score for the harmonic short scale is written in common time (C) with a treble clef on the top staff and a bass clef on the bottom staff. It shows a sequence of notes in the bass clef, starting with a quarter note and followed by eighth notes, ending with a quarter note. The notes are: C2, D2, E2, F2, G2, A2, B2, C3, D3, E3, F3, G3, A3, B3, C4. There are accents (>) over the notes and a tilde (~) at the end.

旋律的短音階

The musical score for the melodic short scale is written in common time (C) with a treble clef on the top staff and a bass clef on the bottom staff. It shows a sequence of notes in the bass clef, starting with a quarter note and followed by eighth notes, ending with a quarter note. The notes are: C2, D2, E2, F2, G2, A2, B2, C3, D3, E3, F3, G3, A3, B3, C4. There are accents (>) over the notes and a tilde (~) at the end.

合格発表、入学手続、入学金・授業料等

発表日 一般推薦入学試験・・・・・・・・・・2017年11月14日（火）18時予定
一般入学試験および編入学試験・・・2018年2月23日（金）16時予定

発表方法 合格者の「受付番号」を次の方法で発表する。
① 学内掲示（仙川キャンパス・1階ロビー）
② 本学ホームページ

書類の交付 合格者には、入学手続書類（合格者心得）を同日に速達で送付する。

入学手続 「一般推薦入学試験」合格者〔11月20日（月）～11月30日（木）郵送必着〕
手続締切日 「一般入学試験」および「編入学試験」合格者〔3月7日（水）～14日（水）郵送必着〕
※ 締切日までに手続きを完了しない場合は、入学資格を失う。

提出書類等 1) 「入学手続納付金払込用紙」の副票
2) 誓約書（本学が指定する用紙）
3) 身元保証書（本学が指定する用紙）
4) 学籍台帳（本学が指定する用紙一要・タテ7cm×ヨコ5cmの写真貼付）
5) 写真（タテ4cm×ヨコ3cm）1枚
6) 住民票または住民票記載事項証明書1通（入学する本人のみ記載のもの、本籍の記載も必要）
7) 保健調査票（予防接種歴確認書） 他

※ 手続きを完了した者には、「入学許可証」を交付する。

※ 入学手続に関する詳細は、『合格者心得』で通知する。

※ 入学手続完了後に入学を辞退する者には、指定した期日に所定の手続きをとれば、入学金以外の納入金を返還する。

入学金・授業料等（2017年度実績）

1. 入 学 金	800,000円	（入学時のみ）
2. 運営維持費	300,000円	（年額）
3. 授 業 料	1,360,000円	（年額）
4. 施設設備費	240,000円	（年額）
5. 学生会費	6,600円	（年額）

（注）1. 1.2. の合計と 3.4.5. の半額（合計1,903,300円）が、入学手続時に納入する金額である。

2. 授業料には専攻実技レッスン受講料と副科ピアノ、作曲理論ピアノ、作曲理論ピアノに代わる副科実技の各レッスン受講料（いずれも必修科目として規定学年で履修の場合）が含まれる。ただし、外国人教師等の特別レッスンは、レッスン料を別に徴収することがある。選択副科受講料、室内楽・二重奏ソナタ受講料、教職課程受講料等は、受講者から別に徴収する。

特待生制度および奨学金制度・学生会館

特待生制度

入学試験または所定の学内試験で、専攻実技の成績が極めて優秀であると認められた学生は、「特待生」として入学金・運営維持費・授業料などを一部または全額免除する。

奨学金制度

成績優秀者または経済的な理由により就学が困難な大学生、高校生、ソリスト・ディプロマ・コース生を対象に、各種の奨学金制度が充実している。

1. 本学独自の奨学金制度〔給付〕

◎桐朋学園音楽部門奨学金

向学心を持ちつつも、経済的理由で就学が困難な学生・生徒を対象とする。
1年ごとに選考を行い、授業料の1割から10割を年1回（9月末）給付する。
原則として、日本学生支援機構奨学金(第一種)の算出基準に準拠、実状を考慮し決定する。

申請方法：入学前と入学後の申請がある。

①入学前の申請

入試要項添付の申請書に必要事項を記入、書類を添付のうえ入学試験志願票とともに提出する。給付の可否についての審査結果は、2018年2月23日頃(予定)に郵送する。
採用者には、入学後、奨学金運営委員会による面接が7月中旬に実施される。

②入学後の申請

在学生を対象とする募集要項は、4月末に掲示する。入学前に申請した者も、再度申請することができる。

◎桐朋学園音楽部門特別奨学金

成績の特に秀でた学生・生徒に対し給付される。

◎桐朋学園音楽部門芸術教育設備・拡充資金及び奨学金基金奨学生

当該年度の入学試験で、秀抜なる成績を得た学生・生徒に給付される。

◎桐朋学園音楽部門同窓会奨学金（大学2年在学生対象）

桐朋学園音楽部門同窓会から、向学心があり心身ともに健全で、経済的理由によって修学が困難な大学2年生を対象に給付される。

◎チェロアンサンブル・サイトウ奨学金（チェロ専攻生対象）

当該年度の入学試験で、秀抜なる評価を得たチェロ専攻の学部学生に給付される。

◎鍋島元子奨学金（古楽器専攻生対象）

本学出身のチェンバリスト、故・鍋島元子の名を冠した奨学金。
当該年度の入学試験において、優秀な成績を修めた者に給付される。

2. その他の奨学金 等

- ◎日本学生支援機構奨学金（国の奨学金、採用人数枠が有り大学を通じて申請）
<http://www.jasso.go.jp/>
- ◎各都道府県・地方公共団体奨学金
- ◎企業、交通遺児育英会等の奨学金
- ◎国の教育ローン(日本政策金融公庫が取り扱う公的な融資制度)
<http://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

学生会館

自宅通学が困難な女子学生・生徒のために、調布駅より徒歩約15分の場所に学生会館を用意しています。

タイプ	防音ワンルーム型マンション
住戸面積	約21㎡(1住戸当り)
仕様	ミニキッチン・バス・トイレ・エアコン・インターネットコネクション等各室完備
住戸数	115戸
入居費	月額78,000円
その他	入居時に諸経費として、50,000円が必要。光熱水費は自己負担。

2018年度の募集について

- (1) 募集人数は約20名。希望者多数の場合は抽選とする。
(高校生、ディプロマ・コース生を含む)
- (2) 入居希望者は入試要項に添付されている所定用紙にて入学試験志願票とともに提出する。
- (3) 入居の可否通知は、合格発表日後1週間以内に合格者宛に発送する。

宿泊施設

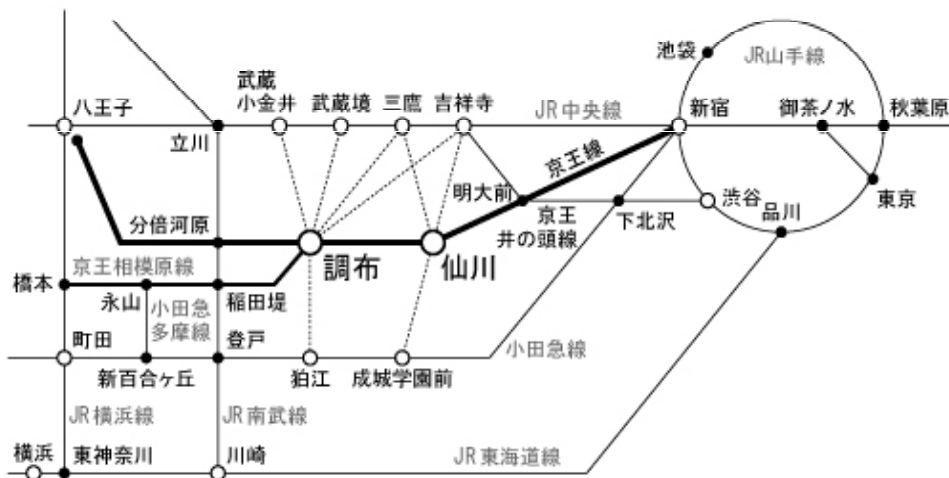
本学が斡旋しているものではありませんが、京王線沿線にはおおむね下記の宿泊施設があります。予約・問い合わせは直接宿泊施設にお願いします。

新宿駅周辺	多数あります。
調布駅周辺	調布クレストンホテル、ホテル・ツインズ調布
飛田給駅周辺	調布アーバンホテル、ホテル武蔵野の森
東府中駅周辺	マロウドイン東京
府中駅周辺	府中アーバンホテル、ホテル コンチネンタル、シティテル府中

交通機関案内図

■ 交通案内

< 調布駅－新宿駅より特急で約16分、仙川駅－新宿駅より快速で約18分 >

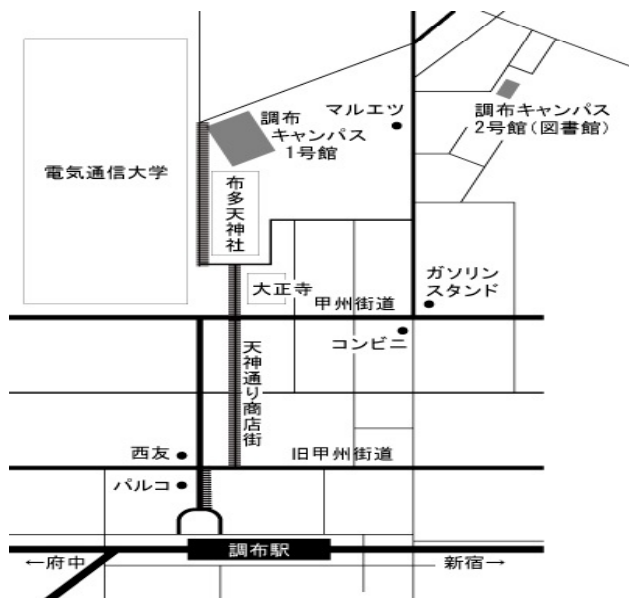


京王線以外からのルート

- < 調布キャンパス >
- 小田急線「狛江」駅発 (バスの所要時間約20分)
小田急バス 「調布駅南口」または「武蔵境駅南口」行き
「調布駅南口」または「調布駅北口」バス停下車 徒歩10～12分
 - JR中央線「吉祥寺」駅、「三鷹」駅、「武蔵境」駅、
「武蔵小金井」駅発 (バスの所要時間約30～40分)
小田急バス 「調布駅北口」行き (吉祥寺、三鷹、武蔵境)
京王バス 「調布駅北口」行き (武蔵小金井)
「調布駅北口」バス停下車 徒歩10分

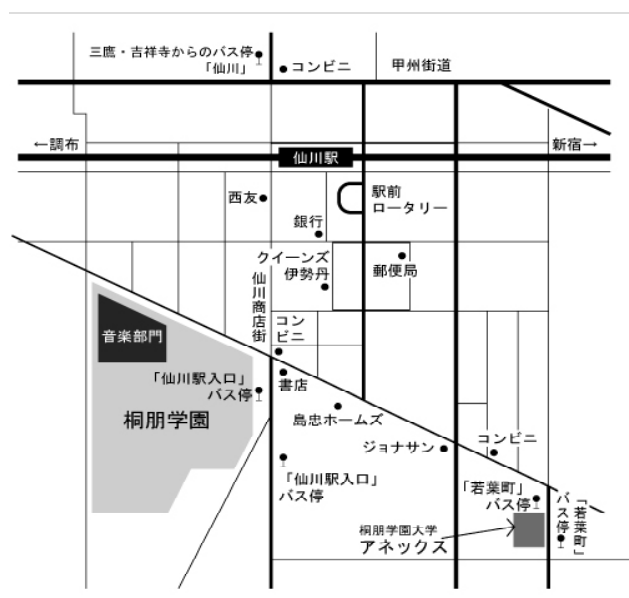
- < 仙川キャンパス >
- 小田急線「成城学園前」駅発 (バスの所要時間約15分)
小田急バス 「狛江営業所」または「調布駅南口」行き
「仙川駅入口」バス停下車 徒歩1分
 - JR中央線「吉祥寺」駅発 (バスの所要時間約25分)
小田急バス 「仙川」行き 「仙川」バス停下車 徒歩6分
 - JR中央線「三鷹」駅発 (バスの所要時間約30分)
小田急バス 「仙川」行き 「仙川」バス停下車 徒歩6分

◆ 調布キャンパスの駅からのアクセス



● 京王線「調布」駅より 徒歩10分

◆ 仙川キャンパスの駅からのアクセス



● 京王線「仙川」駅より 徒歩5分

<仙川キャンパス>

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1 ☎ 03 (3307) 4101 (代)

<調布キャンパス>

〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-10-1 ☎ 042 (444) 7055 (代)